

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	小野ゆらんこ		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数) 41
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年12月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの情報や支援の方針等についての共有を積極的に行っている	・必要であれば報告者に対する深堀りや付け加えの報告を行うことにより、一層包括的な視点での情報共有を行っている ・また、伝達が不十分であれば、どの点に関する情報が必要なのかを伝えたくて改めて報告を求めるなどしている	・より少ない時間で効率的かつ端的に伝える力を身につける ・その日の出勤ではない職員にも情報がいきわたるような構造・仕組みを検討する
2	・市や園とのつながりの強さ	・もともとつながりのある職員が多数在籍している	・今後は職員の昇格や新規採用等に伴い、関係の引き継ぎや連携のノウハウ伝授が必要
3	・近くに体をしっかり動かせる場所がある(公園・広場など)	・職員も一緒に体を動かし、自然と走ったりルールのある遊びや皆で行う遊びにつなげている	・外での遊びの幅を広げたい(様々な体の動かし方・・・大縄跳びやルールのある遊び等)

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員を育てるための仕組みやプログラムが強い	・まだ新しい事業所であり、マネジメントの経験が少ない職員が多いため	・法人として職員育成に関する研修の企画が必要
2	・標準的な視点が乏しい(新たに関わる方への伝達力)	・他事業所や他機関等と関わる機会の少ない職員が多いこと ・外部の研修(特に福祉分野以外の)への参加が少ないこと	・事業所間での交流の活性化 ・幅広い研修への参加の積極化
3	・職員間での連携に少し時差が発生することがある	・申し送りノートのチェックや記入が十分でないことがある ・配布物については、全ての職員まで理解できていないときがある	・申し送りノートに記入することはないかを保育終了時に確認する習慣をつける ・配布物は玄関対応の職員自ら確認する習慣をつける

事業所名	北播磨こども発達支援室 小野ゆらんこ
------	--------------------

公表

日 2025年1月31日

児童 2025/1/8 現在

数 49名

回収数

41名

		チェック項目	ご意見			ご意見を踏まえた対応	
			はい	どちらともいえない	いいえ		わからない
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	40	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室も運動の部屋も広い。</li> <li>・ちょうど良いスペースだと思います。</li> <li>・活動内容に適したスペース</li> </ul>	【見てもらう機会を設ける為に】 見学時に、丁寧に説明をしていく。 参観の機会を設け、スペース
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	41			<ul style="list-style-type: none"> <li>・手厚い配慮で安心できます。</li> <li>・ちょうど良い人数だと思います。</li> </ul>	現状の取り組みを維持する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	39	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動される部屋の状況を見る限り、整理されていてきれいだと思います。</li> <li>・何をするかなど、ドアに写真が貼ってあるのでしている。</li> <li>・玄関での導入、入室までの視線誘導を配慮して頂け</li> </ul>	当日の活動内容・活動時の様子などを写真にて伝える取り組みを維持する。 玄関先での視線導入については検討する。

	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	41					現状の取り組みを維持する。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	40	1			・利用日をすごく楽しみにしており喜んで入ってくれることから、十分な配慮また支援が受けられていると思った。 ・計画に沿ってよく理解し	保護者との面談時に丁寧に説明を行っていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	39			2		保護者との面談時に丁寧に説明を行っていく。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	41					現状の取り組みを維持する。
	8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に	38			3		保護者との面談時に丁寧に説明を行っていく。
	9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	40			1		保護者との面談時に丁寧に説明を行っていく。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	3	2	1		子どもの状態や季節・行事などを考慮し活動内容を決めている。週2回利用児については活動が重複するが、参加す

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	19	7	7	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・併行通所がほとんどなだけでなく大丈夫かな園との交流も個別で希望があればいいと思います。</li> <li>・こども園に通っているので交流は特に希望しない。</li> <li>・保育所でほかのこどもと</li> </ul>	利用時の95%以上が園に通っているため、必要性を感じていない。未就園児については、今後検討していく。
保 護 者	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	40	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者負担については、多くても月いくらと言う話は聞いていますが、具体的に何にいくらかかるのか説</li> </ul>	契約時に説明を行っている。より丁寧な説明を行っていく。
	13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	41				<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画は内容は面談を通して丁寧に説明していただいています。</li> </ul>	現状の取り組みを継続する。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	40	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの利用日に別室で受けられるなら参加しやすいです。</li> <li>・ペアレントトレーニングや父母の会に今は参加できていませんが成長していくにつれ必要だと感じたら、</li> </ul>	未就園児については、託児の実施を行うなどの対応をしている。実施の曜日については固定にならないように心掛けている。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	38	3			<ul style="list-style-type: none"> <li>・お迎えの時に他の保護者と重なることが多いので送迎時はゆっくりと話すのが</li> </ul>	送迎時に保護者と子供について情報交換をする時間の確保を検討していく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	41				<ul style="list-style-type: none"> <li>・こちらが相談した時などアドバイスしていただきいろんな発見が出来ていま</li> </ul>	現状の取り組みを継続する。

ロ への 説明 等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	40			1		現場の保育者と保護者との情報交換の時間を確保していく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるな	31	7		3	・きょうだい同士はまだないと思います。 ・きょうだいも参加できる プチ運動会があったので、少し交流もできたと思う。	兄弟の方も参加していただける行事を今後も定期的に行いたい。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	41				・時間を作って下さり対応してもらっています。 ・いつでも何か気になることがあれば連絡できる安心感があります。（19まで同	現状の取り組みを継続する。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	40	1				現状の取り組みを継続する。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	37	3		1	・SNSでの発信は少なめだが、写真と玄関に掲示していることで補えていると思う。	ホームページやゆらんこ便りを通して、活動時の写真や行事・保護者参加の取り組みなどをお知らせしている。ホー
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	39	1		1	・どう取り扱われているのかわからないので『わからない』にしました。	契約時に説明を行っている。より丁寧な取り扱い・説明を行っていく。
非	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	39	1		1	・訓練はよくされているが、マニュアルのことまではよくわからない部分がある。 ・マニュアルがあるのかど	玄関にマニュアルが閲覧できるようになっている。周知していく。

常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	40			1	・受け渡し訓練があったので、定期的に訓練があると思います。（26まで同文の	ゆらんこ便りで毎月の避難訓練・受け渡し訓練の日をお伝えしている。 現
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	38	3			・安全確保のため、警報が出ている時は無理に開所しなくても良いと思う。	法人で検討していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	39			2		事故発生時には保護者の方に丁寧な説明を行っている。現状の取り組みを継続する。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	39	2			・見学の時からしっかりと子供と向き合っておられる職員の方を信頼しています。 ・登園時は泣いたり行き渋りがありますが、帰りは楽しかったと言っています。 ・まだ楽しみにしているのかはわかりませんが、朝送って言ったら泣いてしま	連絡帳を通してやお迎え時に利用時の様子を丁寧に伝えていく。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	37	3		1	・話せないのではわかりません。 ・とても楽しみにしていて、保育所より楽しいと言っています。 ・登園時は泣いたり行き渋りがありますが、帰りは楽しかったと言っています。 ・今日は何をするのかとて	連絡帳を通してやお迎え時に利用時の様子を丁寧に伝えていく。

	29	事業所の支援に満足していますか。	40			<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方にはいつも感謝しております。</li> <li>・親子ともに満足しています。職員の方はいつもニコニコして安心させてくれます。</li> </ul>	<p>連絡帳を通してやお迎え時に利用時の様子を丁寧に伝えていく。</p>
--	----	------------------	----	--	--	---	--------------------------------------

(別紙5)

事業所名	小野ゆらんこ
------	--------

公表日 2025年1月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		スペースは十分に確保されている。	コーナーを作り、安心して遊びに集中できる環境を作っていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		規定数以上の人員を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	スケジュールの提示を行い、理解しやすいように視覚支援を行っている。 ・構造化している部分もあれば、子どもの発達レベルや課題に応じて適切な刺激	コーナーを作り、安心して遊びに集中できる環境を作っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	寒い日にはホットカーペットを用いて、心地よく過ごせるようにしている。	活動が済んだ後、カーペットの消毒を行い清潔を保つ。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		写真を提示し、行きたい場所が伝えられるようにしている。	

業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		活動の前には個々の子どものその日の目標や留意点を伝え、活動後には振り返りを必ず行っている。 ・日々違う子どもが利用し、その変化も目まぐるしい会議や回覧で伝達している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		職員会議等で話し合いの時間を持つ。職員へのや面談をこまめに行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2	第三者機関にお願いしている。	外部講師による、ステップアップ研修を行い業務改善につなげている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		月に1度必ず事業所・法人内研修を行っている。また、外部の研修に参加している。	・全体的な意識の高さは十分とは言えない。発達支援や仕事に対する意識改革は法人が
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		ホームページにて公表している。	
	12	個々のことに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	9		できるだけたくさんの職員が参加して個別支援会議を行っている。	・活動案の引き出しを増やすための取り組みは今後も継続・拡充が必要だと感じる

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		できるだけ多くの職員が参加して個別支援会議を行っている。	
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		活動の前には、個別支援計画に沿った個別目標を確認している。	・文章の理解や目標に対して自分がどう行動すればよいかなど、職員一人ひとりの資質
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認し、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な	8	1	専門的な資格を有する職員と一緒にアセスメントを行っている。	標準化されているツールの利用を検討する。
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な	9		最近接領域を大切にしながら、子どもたちが少し頑張ればできる内容を検討し、常に自己肯定感を上げられるような支援内容を検討している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		活動計画を職員全員で考え、アイデアを出し合い立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		季節に応じた活動を取り入れ、また、それぞれの成長に合わせた内容のプログラムを	・研修への参加や教材（本・動画など）を活用した職員の資質向上は必要
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	9		個々の思いが十分に表現できる時間と、小集団の活動の中での役割が意識できるような	

20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		活動の前に打ち合わせを行い、活動プログラムの中で支援内容や役割分担について十	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		活動後には、個々の子ども様子を話し合い、次に向けた支援のポイントを申し送りでき	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		記録をとるとともに、次の支援のポイントを話し合っている。	
23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		定期的に見直しを行っている。	
24	<b>【放デイのみ】</b> 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。				
25	<b>【放デイのみ】</b> こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。				
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児童発達支援管理責任者だけでなく、主任保育士や専門的な資格を有する物が参加して	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		必要に応じて、各園や医療関係や市と連携をして支援を行っている。	

関係機関や保護者との連携

28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	2	発達支援センターとの連携はないが、スーパーバイザー的な外部の講師に定期的に来て	・市内に発達支援センターがない ・隣市にあるので、連携でき
29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	利用時のほとんどが園との並行通園を行っている。	未就園児については、交流の必要性を感じているので検討したい。
30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		送迎時にできるだけ詳しく伝え	他の、保護者の前で話をしないといけないことについて指摘を受けたことがあり、伝える内容の難しさを感じている。
31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		パパママカフェを年に2~3回・ペアレントトレーニング5回コースを年に1回行っている。	
32	<u>【発達事業所・発達センターのみ】</u> 移行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		必要に応じて園を訪問している。園での様子を書面にてお聞きしている。	
33	<u>【発達事業所・発達センターのみ】</u> 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		申し送り所を保護者と一緒に作成して届けている。	
34	<u>【発達センターのみ】</u> 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	9		並行通所している事業所と、個別支援計画についての面談を行っている。医療関係との	

35	【 <u>児発センターのみ</u> 】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9		外部の研修には積極的に参加している。ステップアップ研修で外部講師を定期的に迎え	
36	【 <u>児発センターのみ</u> 】(自立支援)協議会・子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9		協議会や部会へ参加している。	
37	【 <u>放デイのみ</u> 】子校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。				
38	【 <u>放デイのみ</u> 】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。				
39	【 <u>放デイのみ</u> 】子校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
40	【 <u>放デイのみ</u> 】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。				
41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に行っている。支援プログラムについては配布して周知している。	新規の利用者に説明する内容が年々増えている。1度の説明ではご理解できない量となっ
42	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		個別支援計画の説明時に保護者の悩みや困りごと・思いを聞き取りしている。 保護者の意向を聞いて、必要	

43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		得ている。	
44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		支援計画の説明時のみならず、普段から相談には十分な時間をとり話を聞いている。その場で決められない事柄に	
45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		父母の会には要請があれば参加する体制をとっている。事業所内ではパパママカフェ・家族参加の運動会実施などで交流が持てるようにしている。 ・当事業所の保護者が発足させた保護者会が二年目を迎える。依頼を受け利用者に保護	・きょうだいで交流については、利用者が対象の活動の中で、一緒に活動する機会があるという程度に留まっており、きょうだい主役の取り組みは今のところない
46	子どもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		職員間で話し合い対応を決めて	要望については、職員間で協議して決めている。すべての要望を受け入れられることは不可能だが、できる範囲で対応していとともに説明を行っ
47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		小野ゆらんご便りを月1回発行している。ホームページにも活動の写真やゆらんご便りなどを掲載している。 ・毎月おたよりを配布しており、そこにHPのQRコードを掲載等している	

48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	1	写真の取り扱いには最大限の配慮を行っている。	持ち物を誤って入れ間違えることがないように、カバンに名札をさせていただくようにし
49	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		視覚的な支援を行うなど、個々に応じた物を使ってコミュニケーションをとってい	
50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3	コミセンおおべの祭りには毎年作品を展示させていただき参加している。	地域住民を招待する事業所運営はまだ難しく感じている、
51	<b>【放デイのみ】</b> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。				
52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		職員間では訓練やマニュアルの読み合わせなど訓練を行っている。保護者の方には玄関にマニュアルを置いていつでも見ていただけるようにして	マニュアルの存在に気づいていない保護者の方に周知徹底する。
53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		BCPの策定内容を職員で一緒に確認し、それぞれの役割についても周知している。	職員の入職に合わせて、BCP内容の変更・研修の実施を行ってきたい。
54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		保護者からの聞き取りを行っている。 服薬が必要な児には投薬依頼	
55	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		保護者から医師の指示に基づく内容を聞き取りしている。 不明な点は再度、医師に伺っ	・現在の利用者に対応が必要な食物アレルギーのある子どもがいないが、必要がある場

非常時等の対応	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		月に1度、災害訓練・受け渡し訓練を必ず行っている。	
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		玄関に防災マニュアルを設置し、自由に閲覧できる環境を整えている。	ゆらんこ便りを通して、マニュアルの設置にらいて周知していく。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		職員会議でヒヤリハットの検討会を開いている。参加できない職員には回覧して周知を徹底している。 ・「ヒヤリハットがないのは不自然なこと」という前提を周知しており、正直に報告できる風土が醸成されている	
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		虐待研修は年に1度以上は行い、また、職員に対するアンケートの実施なども同時に	
	60	このような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		身体拘束に値する事例が無かったが、今後も検討を重ねていく。	